情報通信審議会　情報通信技術分科会

陸上無線通信委員会（第 102 回）議事概要

１　日時

令和８年７月９日(木)　10:00～10:30

２　場所

ＷＥＢ上で開催

３　出席者(敬称略)

主　　査：三次　仁

専　門　委　員：飯塚　留美、井家上　哲史、太田　香、岡野　直樹、杉浦　誠、杉本　千佳、田丸　健三郎、辻　宏之、藤野　義之、松尾　綾子、森田　久美子、森田　耕司、吉田　貴容美

オブザーバー：後藤　健太郎、佐野　裕康、廣政　達也、古川　直哉、三瀬　敏生、山口　智敬

事　　務　　局：総務省　移動通信課

４　配布資料

資料番号	資料名	作成者
資料 102-1-1	陸上無線通信委員会報告（案）「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「300MHz 帯無線式列車制御システムに係る技術的条件」（概要版）	事務局
資料 102-1-2	陸上無線通信委員会報告（案）「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「300MHz 帯無線式列車制御システムに係る技術的条件」	事務局
資料 102-2-1	「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「特定ラジオマイクの高度化（WMAS）に係る技術的条件」の検討開始について	事務局
資料 102-2-2	特定ラジオマイク作業班　運営方針（案）	事務局
参考資料 102-1	陸上無線通信委員会（第 101 回）議事概要	事務局
参考資料 102-2	情報通信審議会　情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会 運営方針	事務局

５　議事

（１）　諮問第 2033 号「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「300MHz 帯無線式列車制御システムに係る技術的条件」について

資料 102-1-1 及び資料 102-1-2 に基づき、事務局より説明が行われ、（案）のとおり承認された。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

井家上専門委員　：このシステムは複数の送信局から同時に 8PSK と 16PSK を送信していると認識しているが、そういった内容は技術的条件には記載されないのか。

事務局　：将来的に様々な方式に対応できるよう、法令上は規定しない方向で考えている。

三次主査　：上側隣接の離調は１チャネル空いているのか連続しているのか。

事務局　：中心周波数が 6.25kHz の周波数離調であり、帯域としては連続している。

三次主査　：報告書の中で周波数帯が明記されていると分かりやすいように思う。

辻専門委員　：アンテナ１本あたりで１Ｗなのかシステム全体で１Ｗなのか。

三菱電機　：各アンテナあたり１Ｗである。

（２）　諮問第 2009 号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「特定ラジオマイクの高度化（WMAS）に係る技術的条件」の検討開始について

資料 102-2-1 に基づき、事務局より説明が行われ、検討開始が承認された。

（３）　特定ラジオマイク作業班について

資料 102-2-2 に基づき、事務局より説明が行われ、（案）のとおり承認された。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

藤野専門委員　：この帯域は地球探査衛星とも共用となり、作業班の構成員には担当がいないようだが、この部分は問題ないのか。

事務局　：この検討に合わせて総務省において技術試験事務を行っている。この中で技術的な共用検討を実施しており、地球探査衛星とは共用できる見込みである。

（４）その他

事務局より、委員会報告（案）「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「300MHz 帯無線式列車制御システムに係る技術的条件」について、委員会後パブリックコメントの手続きに進む旨説明が行われた。

また、次回会合は９月に開催する予定であり、具体的な次回会合の開催日程等については別

途連絡する旨の説明が行われた。

（以上）